

フク  
復

𠂔

𠂔は二つ重ねたような形をした酒器である。  
𠂔は、止(止)をさかさにした形。足(歩く)の  
意がある。

重ねる(重なる)

重ねて行く(ふたたび)

行ったり来たりする

フク  
複

布を重ねて作った**着物**(衣)

**合わせ**(表地と裏地と合わせて仕立てられた着物のこと  
複の本義)

**重なり合う**(こみ合う) 例 重複・複雑

フク  
腹

肉体の中で、多くの器官の**重なり合った**ところ

**はら** 例 空腹・満腹

**心**(または度量) 例 腹案・腹心

フク  
復

一度適った道を重ねて通る

**かえる** 例 往復・復帰

**元にもどる**(もどす) 例 回復・復古

**くり返す** 例 反復・復習

注 帰は出発した所にかえること。復は行きの道を通して出  
発点にかえること。

フク  
馥

よい香(かおり)が行ったり来たりする

**かおる**(におう) 例 芳馥・馥郁<sup>イク</sup>

フク  
覆

おおい(𠂔)を取ったり着けたりする

**おおい** 例 覆蓋<sup>フウガイ</sup>・覆面<sup>フクメン</sup>

**ひっくりかえす** 例 顛覆<sup>テンブク</sup>

注 おおいというものは着けたりはずしたりするものである。  
それで**复**と言う

問 次のフクを漢字で書け。

！ <sup>フク</sup> <sup>フク</sup> <sup>フク</sup> <sup>フク</sup> <sup>フク</sup>  
習 案 雑 面

答 馥 復 腹 複 覆